

**製品名: リン酸化 p53 (Ser392) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87446**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:44 kDa; Observed MW:53 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-p53 (Ser392)
別名	P53; BCC7; LFS1; TRP53
遺伝子 ID	7157
SwissProt ID	P04637
免疫原	ヒト p53 の Ser392 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

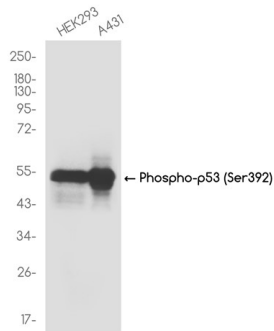
この遺伝子は、転写活性化ドメイン、DNA 結合ドメイン、およびオリゴマー形成ドメインを含む腫瘍抑制タンパク質をコードしてい

ます。コードされているタンパク質は、多様な細胞ストレスにตอบสนองして標的遺伝子の発現を制御し、細胞周期停止、アポトーシス、老化、DNA 修復、あるいは代謝変化を誘導します。この遺伝子の変異は、リ・フラウメニ症候群などの遺伝性癌を含む様々なヒト癌と関連しています。この遺伝子の選択的スプライシングと代替プロモーターの使用により、複数の転写バリエーションおよびアイソフォームが生じます。また、同一の転写バリエーションから代替翻訳開始コドンを使用することで、追加のアイソフォームが生じることも示されています (PMID: 12032546、20937277) 。 [RefSeq 提供、2016年12月]

## 研究分野

-

## 画像データ



リン酸化 p53 (Ser392) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HEK293、A431 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。